

横林美祝（関西学院大学文学部）  
 minori.yokobayashi@gmail.com

キーワード：日本語、記述言語学、「～いただく」、可能態、参与者追跡、待遇表現、補助動詞

### 要旨

現代日本語において、補助動詞「～いただく」を含む「資料は見ていただきましたか？」のような疑問文は、本動詞（「見る」）の行為主体が2通りに解釈できる。一つは「聞き手が見たかどうか」、もう一つは「第三者が見たかどうか」を訊いていると読む解釈である。本発表は、この「イタダク疑問文」の行為主体判定の実態と、その判定を左右する要因を、話者へのアンケート調査により明らかにし、次の(A), (B)の2点を主張する：

- (A) イタダク疑問文の行為主体判定には「～いただく」対「～いただける」という可能の有無が関与している。
- (B) イタダク疑問文の行為主体判定は、話者の年齢によって傾向に差がある。  
この2点より、本研究は次の(C)～(E)の3つの意義を持つ。
- (C) イタダク疑問文について話者の年齢別の解釈傾向を調査・分析し、「～いただく」を含む表現の解釈が若年層では異なることをデータで示す。
- (D) 「～いただく」研究に対して可能態の重要性を新たに指摘する。
- (E) イタダク疑問文において可能態が参与者追跡機能を持つことを新たに示す。

### 1. 問題の所在・先行研究

現代日本語には、受益の補助動詞「～てもらう」「～いただく」を含む次のような疑問表現がある。

- (1) 資料は見てもらいましたか？
- (2) a. 資料は見ていただきましたか？  
b. 資料は見ていただけましたか？
- (3) a. 資料はご覧いただきましたか？  
b. 資料はご覧いただけましたか？

「～いただく」は恩恵の与え手を高める語で、「～てもらう」の謙譲語である（菊地 1994, 日本語記述文法研究会 2009a, 2009b）。(2), (3) は、次の2つの解釈が可能である：

解釈 I：聞き手主体読み

「聞き手が資料を見たかどうか」を訊いていると読む解釈。

“行為主体（本動詞「見る／ご覧」の主体。ここでは見る側の人）＝聞き手”と読む解釈。

\*本発表にあたり、野島本泰先生には研究の着想の段階から多くのご指導とアドバイスをいただいた。また、加藤昌彦先生、金谷由美子先生、白岩広行先生、林範彦先生、山岡翔先生には大変重要なコメントをいただいた。以上の方々および、調査にご協力いただいた方々に深く感謝申し上げます。

## 解釈Ⅱ：第三者主体読み

「第三者が資料を見たかどうか」を訊いていると読む解釈。

“行為主体＝第三者”と読む解釈。

非敬語形「～てもらおう」を含む(1)では「第三者主体読み」が圧倒的に優勢となることと比較されたい。

(2), (3)のように補助動詞「～いただく」「～いただける」を含み、聞き手あるいは第三者が行為をおこなったかどうか尋ねる文を「イタダク疑問文」と呼ぶことにする。本研究は、イタダク疑問文の行為主体の判定について、次の(A), (B)をアンケート調査の結果に基づいて主張する。

(A) 「～いただく」対「～いただける」という可能の有無が関与している（可能形「～いただける」のほうが、「聞き手主体読み」がされやすく、「第三者主体読み」がされにくい）。

(B) 話者の年齢によって、判定の傾向に差がある（一部のイタダク疑問文において、若年層の話者のほうが「第三者主体読み」をしにくい）。

先行研究としては次のものがある。金澤（2007）、山田（2021）、滝浦（2022）は「（人）に～いただく」という表現に代わって「（人）が～いただく」もよく用いられるようになってきている現象を取り上げている。行為主体の二格からガ格へのシフトには注目しているものの、管見の限りでは「～いただく」とその可能形「～いただける」の間で解釈に差が生じることに注目した論及はない。

また、「～いただける」が行為主体の判定に影響力を持つことを、本研究は参与者追跡機能（reference-tracking mechanism; cf. Foley and Van Valin 1984）と見る。参与者追跡機能を持つ日本語の形式として山田（2004）、風間（2015）は、(i) 待遇表現、(ii) 受身、(iii) テクル（Shibatani 2003, 古賀 2008）、(iv) モダリティ形式などがあると指摘している。しかし、可能態はこれに含まれていなかった。

本研究の意義は以下の(C)～(E)の3つである。

(C) イタダク疑問文について話者の年齢別の解釈傾向を調査・分析し、「～いただく」を含む表現の解釈が若年層では異なることをデータで示す。

(D) 「～いただく」研究に対して可能態の重要性を新たに指摘する。

(E) (2a) は「聞き手主体読み」「第三者主体読み」の両方が可能だが、(2b) は「聞き手主体読み」が優勢であるというように、可能態によってどの参与者が行為主体であるのかがわかるようになっている、つまり可能態に参与者追跡機能があることを新たに示す。

## 2. 調査方法

日本語母語話者478名に対し、イタダク疑問文を含む疑問文を用いた会話文を読み、行為主体が誰であると判断したかを回答してもらうアンケート調査をおこなった。設問の例を次に示す。

会話文を見て、場面を想像してください。

田中さん「資料はご覧いただけましたか?」

佐藤さん「ええ。」

資料を見たのは誰ですか？（複数回答可）

回答者は「佐藤さん」「第三者（ここにいない人）」のいずれか、または両方を選択する。設問の会話文の下線部を以下の8通りに変え、同じ質問に回答してもらった。「佐藤さん」を選択した場合は「聞き手主体読み」、「第三者（ここにいない人）」を選択した場合は「第三者主体読み」ができることになる。

【A 普通形】

- A①「見てもらいましたか？」
- A②「見ていただきましたか？」
- A③「ご覧いただきましたか？」
- A④「見ましたか？」

【B 可能形】

- B①「見てもらえましたか？」
- B②「見ていただけましたか？」
- B③「ご覧いただけましたか？」
- B④「見れましたか？」

また、話者の年齢、出身地（小学校から高校までの間に最も長く住んでいた地域）も回答してもらった。

3. 結果

図1と図2に、回答者478名（日本語母語話者）の年齢分布および回答結果を示す。また、図3に、回答を24歳以下の話者（下段）と25歳以上の話者（上段）とに分けた結果を示す。

なお、図2,3において、「聞き手主体読み」の割合（ピンク）は各設問で「佐藤さん」を選択した回答者の割合、「第三者主体読み」の割合（水色）は「第三者（ここにいない人）」を選択した回答者の割合をそれぞれ示している。

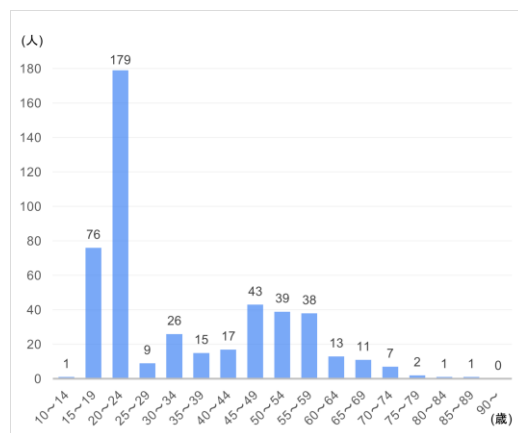


図1 回答者（母語話者478名）の年齢分布

	母語話者・478名		A 普通形		B 可能形		
			聞き手主体読み	第三者主体読み	聞き手主体読み	第三者主体読み	
A① 見てもらいましたか	23.4	84.5	77.2	51.5	見てもらえましたか	B①	
A② 見ていただきましたか	60.9	57.3	93.7	33.9	見ていただけましたか	B②	
A③ ご覧いただきましたか	84.1	33.1	98.3	13.4	ご覧いただけましたか	B③	
A④ 見ましたか	99.2	6.1	99.0	6.1	見れましたか	B④	

(%)

図2 回答者（母語話者478名）の回答結果

	25歳以上・222名		A 普通形		B 可能形			
	聞き手主体読み	第三者主体読み	聞き手主体読み	第三者主体読み	聞き手主体読み	第三者主体読み		
A① 見てもらいましたか	26.6	81.1	80.6	51.4	見てもらえましたか	B①		
A② 見ていただきましたか	59.9	58.6	94.1	35.1	見ていただけましたか	B②		
A③ ご覧いただきましたか	83.3	37.4	97.3	18.0	ご覧いただけましたか	B③		
A④ 見ましたか	99.1	8.6	99.1	7.2	見れましたか	B④		

(%)

	24歳以下・256名		A 普通形		B 可能形			
	聞き手主体読み	第三者主体読み	聞き手主体読み	第三者主体読み	聞き手主体読み	第三者主体読み		
A① 見てもらいましたか	20.7	87.5	74.2	51.6	見てもらえましたか	B①		
A② 見ていただきましたか	61.7	56.3	93.4	32.8	見ていただけましたか	B②		
A③ ご覧いただきましたか	84.8	29.3	99.2	9.4	ご覧いただけましたか	B③		
A④ 見ましたか	99.2	3.9	98.8	5.1	見れましたか	B④		

(%)

図3 24歳以下の話者（256名・下段）と25歳以上の話者（222名・上段）の回答結果

#### 4. 分析・考察

前節の調査結果より、イタダク疑問文の行為主体判定に影響する因子として、可能の有無、話者の年齢、の2つを統計学的に検証する。

##### 4. 1 可能の有無

可能の有無が行為主体判定に影響するかを検証するため、A②・B②のペア（「見ていただき／けましたか？」）および、A③・B③のペア（「ご覧いただき／けましたか？」）の2ペアの回答結果を分析する。

まず、「聞き手主体読み」のされやすさに差があることを検証するため、「佐藤さん」を選択した話者数が普通形／可能形で偏りがあるかどうか、各ペアで独立性の検定をおこなった。なお、本4.1節でおこなった検定はすべて表1のようなクロス集計表を用いた。

表1 A②・B②で「佐藤さん」を選択・不選択の話者数（人数、期待度数入り）

「佐藤さん」の選択	普通形 A② 「見ていただきましたか？」	可能形 B② 「見ていただけましたか？」	合計
選択	291 (369.5)	448 (369.5)	739
不選択	187 (108.5)	30 (108.5)	217
合計	478	478	956

( )内は期待度数

$\chi^2$  検定の結果、両ペアにおいて、可能形のほうが普通形よりも「聞き手主体読み」をした話者が多いことが検証された（A②・B②のペア： $\chi^2(1) = 146.94, p < .001, \phi = .39$ ； A③・B③のペア： $\chi^2(1) = 60.35, p < .001, \phi = .25$ ）。

続いて、「第三者主体読み」のされやすさにも差があることを検証するため、「第三者（ここ

にいない人) 」を選択した話者数が普通形／可能形で偏りがあるかどうか、各ペアで独立性の検定をおこなった。

$\chi^2$  検定の結果、両ペアにおいて、可能形のほうが普通形よりも「第三者主体読み」をした話者が少ないことが検証された (A②・B②のペア:  $\chi^2(1) = 52.89, p < .001, \phi = .24$ ; A③・B③のペア:  $\chi^2(1) = 51.84, p < .001, \phi = .23$ ) 。

これらの結果から、イタダク疑問文において次の2点がわかった。

(A-ア) 可能形のほうが、普通形よりも「聞き手主体読み」がされやすい。

(A-イ) 可能形のほうが、普通形よりも「第三者主体読み」がされにくい。

また、参考として「～てもらう」「～てもらえる」を含むA①・B①のペア(「見てもらい／えましたか?」)のペアでも、「聞き手主体読み」と「第三者主体読み」それぞれについて同じ検定をおこなった。その結果、イタダク疑問文の2ペアと同様、(A-ア), (A-イ)の2点が検証された(聞き手主体読み:  $\chi^2(1) = 276.37, p < .001, \phi = .54$ ; 第三者主体読み:  $\chi^2(1) = 119.99, p < .001, \phi = .35$ ) 。

これに対し、受益でないA④・B④のペア(「見(れ)ましたか?」)では、図2からも読みとれる通り、「聞き手主体読み」「第三者主体読み」をした話者の割合が、普通形／可能形で差がみられない。このことから、可能態のもつ(A-ア), (A-イ)の効果(参与者追跡機能)は、イタダク疑問文を含む受益疑問文に限定して作用することがわかる。

## 4.2 話者の年齢

24歳以下の年齢層は学生の割合が高く、25歳以上の年齢層は社会人の割合が高いと考えられるため、これらの年齢層の間では敬語への習熟度に差がある可能性がある。そのため、24歳以下の母語話者の結果と25歳以上の母語話者の結果とを比較した。

図3より、2つの年齢層で比較的大きな差がみられるのは、B③「ご覧いただけましたか?」で「第三者主体読み」ができる話者の割合である。そこで、B③において「第三者(ここにいない人)」を選択した話者数が、24歳以下の話者と25歳以上の話者とで偏りがあるかどうか、独立性の検定をおこなった(表2)。

表2 B③で「第三者」を選択・不選択の各年齢層での話者数(人数、期待度数入り)

「第三者」の選択	24歳以下の話者	25歳以上の話者	合計
選択	24 (34.28)	40 (29.72)	64
不選択	232 (221.7)	182 (192.3)	414
合計	256	222	478

( )内は期待度数

$\chi^2$  検定の結果、24歳以下の話者のほうが25歳以上の話者よりも「第三者主体読み」をした話者が少ないことが検証された ( $\chi^2(1) = 7.66, p = .0056, \phi = .13$ )。このことから、24歳以下と25歳

以上の話者とでは、24歳以下の話者のほうが B③「ご覧いただけましたか？」の「第三者主体読み」をしにくいことがわかった。

「ご覧いただけましたか？」の「第三者主体読み」は、発話の場にはない相手に尊敬語「ご覧（になる）」と謙譲語「～いただける」の2つを用いていることになる。これは目の前の聞き手を尊敬対象として高める場合に比べ、より習熟を要する敬語表現であると考えられる。このことが、24歳以下の若年層で「第三者主体読み」をした話者が少ない理由の一つではないかと推測する。

ここまで各文での「聞き手主体読み」「第三者主体読み」のされやすさが、年齢層により差があるかどうかを検証してきた。これに加え、4.1節で示した、可能の有無が解釈を左右する効果(A-ア), (A-イ)が、年齢層によって大きさに差があるかどうかを検証した。イタダク疑問文の普通形／可能形の2ペア(A②・B②とA③・B③)において、可能の有無で「聞き手主体読み」「第三者主体読み」の割合が偏ることを $\chi^2$ 検定により検証し、その効果量 $\phi$ を算出した。その結果、2つの年齢層で明確な差はみられなかった。すなわち、イタダク疑問文において、可能態が行為主体の解釈を左右する効果の大きさは、話者の年齢と関係があるとはいえない。

## 5. 結論

本発表は、イタダク疑問文の行為主体判定の実態と、その判定を左右する要因を、話者へのアンケート調査により明らかにし、次の(A), (B)の2点を主張した：

- (A) イタダク疑問文の行為主体判定には「～いただく」対「～いただける」という可能の有無が関与している（可能形「～いただける」のほうが、「聞き手主体読み」がされやすく、「第三者主体読み」がされにくい）。
- (B) イタダク疑問文の行為主体判定は、話者の年齢によって傾向に差がある（一部のイタダク疑問文において、若年層の話者のほうが「第三者主体読み」をしにくい）。

## 6. 今後の課題

今後の課題として次の3つがある。

- ・A②・A③のペア（「見て／ご覧いただきましたか？」）や、B②・B③のペア（「見て／ご覧いただけましたか？」）のように、本動詞の普通形／敬語形によっても解釈が左右されることを考察する。
- ・行為主体判定の傾向に話者の出身地が関係しているかどうかを調べ、方言の影響がないかどうか検証する。
- ・今回は非母語話者に対しても同じ調査をおこなった。母語話者の回答の結果との違いを分析・考察し、日本語教育の分野へ役立てる。

## 参考文献

大場美穂子 (2014) 「『してもらえる（いただける）』の使用場面と意志性」『日本語と日本語教育』42, 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター, 1-26.

風間伸次郎 (2015) 「日本語（話しことば）は従属部標示型の言語なのか？—映画のシナリオの分

- 析による検証—」『国立国語研究所論集 (NINJAL Research Papers) 』9, 51-80.
- 金澤裕之 (2007) 「『～てくださる』と『～ていただく』について」『日本語の研究』(3) 2, 47-53, 日本語学会.
- 菊地康人 (1994) 『敬語』角川書店. なお本稿では次を参照した: 菊地康人 (1997) 『敬語』講談社学術文庫, 東京: 講談社.
- 古賀裕章 (2008) 「「てくる」のヴォイスに関連する機能」森雄一・西村義樹・山田進・米山三明 (編) 『ことばのダイナミズム』241-257, 東京: くろしお出版.
- 椎名美智・滝浦真人 (2022) 「『させていただく』はなぜ一人勝ちしたか? ベネファクティブの変遷に見る敬意漸減プロセス」椎名美智・滝浦真人 (編) 『「させていただく」大研究』277-314, 東京: くろしお出版.
- 滝浦真人 (2022) 「なぜいま敬語は「5分類」になったのか?—日本人の敬語意識に起こっていること—」近藤泰弘・澤田淳 (編) 『敬語の文法と語用論』59-89, 東京: 開拓社.
- 日本語記述文法研究会編 (2009a) 『現代日本語文法 2 第 3 部 格と構文 第 4 部 ヴォイス』東京: くろしお出版.
- 日本語記述文法研究会編 (2009b) 『現代日本語文法 7 第 12 部 談話 第 13 部 待遇表現』東京: くろしお出版.
- 山田敏弘 (2004) 『日本語のベネファクティブ—「てやる」「てくれる」「てもらう」の文法—』東京: 明治書院.
- 山田敏弘 (2021) 「授受表現の文法的逸脱表現」金澤裕之・川端元子・森篤嗣 (編) 『日本語の乱れか変化か—これまでの日本語、これからの日本語』21-46, 東京: ひつじ書房.
- Foley, W. A. & Robert D. Van Valin (1984) *Functional syntax and universal grammar*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Shibatani, Masayoshi (2003) *Directional verbs in Japanese*. In: Erin Shay and Uwe Seibert (eds.) *Motion, direction, and location in language: In honor of Zygmunt Frajzyngier*. 259-285. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins Publishing Company.